

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	環境センター担当課長 脇 一則
環境-28 今泉クリーンセンター収集事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課 環境センター 関連課
総合計画上の位置付け	分野	生活環境
	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる

2 平成27年度に実施した事業の概要

- ・大船・玉縄及び深沢地域の一部のごみの収集・運搬作業を行った。
- ・ごみの減量・分別・資源化を推進するため、市民及び事業者への指導と啓発活動を実施した。
- ・清掃車両の整備及び管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数	74,343人	74,548人	事業の対象者数	74,299人	
決算値(千円)	11,703	11,822	当初予算(千円)	12,900	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他		
一般財源	11,703	11,822	一般財源	12,900	
人員配置数	31.3	31.3	人員配置数	29.8	
人 件 費(千円)	248,016	255,493	人 件 費(千円)	246,147	
総事業費(千円)	259,719	267,315	総事業費(千円)	259,047	
市民1人当りの経費(円)	1,464	1,508	市民1人当りの経費(円)	1,465	
対象者1人当りの経費(円)	3,494	3,586	対象者1人当りの経費(円)	3,487	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー 自治・町内会長、廃棄物減量化推進員
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		収集車両に係る経費と計量業務に従事する嘱託員の報酬等が予算の大半を占めるが、現状の人員はもとより機材等の維持が必要である。また、計量業務についても市民等のごみの持ち込み対応に欠かせない業務である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	退職者不補充及び異動等により職員数が減少していく中で、本事業は市民生活に密着した欠かせない事業であり、安定した質の高い市民サービスの提供、また、災害時等の迅速な対応のため一定数の職員の確保を図ることが必要である。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	高齢化社会に伴い「声かけふれあい収集」の収集世帯数が増加傾向にあるが、その反面、職員数の減少により収集体制の確保が困難になってきている。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	作業編成(体制)の見直しを図った。		☐ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	「声かけふれあい収集」は直営収集の継続を前提としていくべきであり、また、災害時等の緊急な対応も含めた一定数の直営職員の確保。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	燃やすごみの年間収集量					単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	目標値の修正については、重点施策であった戸別収集の見直しによるもの		
ごみの減量化・資源化へのさらなる取り組みのため	目標値	7,700.0	7,700.0	7,887.0						
	実績値	9,742.7	8,060.6							
	達成率	73.5%	95.3%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成27年4月より実施した家庭系ごみの有料化による効果もあり収集量は大幅に削減したが、さらなる削減のためには分別・資源化の強化と継続が不可欠であり、引き続き指導・啓発活動を行っていきます。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---